



広報 **しぶかわ**

SHIBUKAWA PUBLIC RELATIONS

- 西群馬病院と渋川総合病院の統合整備 …… 2
- 3月10日(土)小野上公民館が全館オープン … 4
- 広聴事業で寄せられた「市民の声」 …… 5
- 空間放射線量測定器を貸し出します …… 9

独立行政法人 国立病院機構 渋川市
新病院の整備及び運営に係る基本協定調印



協定を結び新病院整備が本格的にスタートしました

— 問い合わせ先 —
病院再編統合準備室
☎ 22241

独立行政法人国立病院機構
西群馬病院と渋川総合病院と
の再編統合により、新たな病
院が誕生します。

開院は、平成27年4月を予
定しています。

両病院が統合する理由は？

現在、渋川保健医療圏（渋川市、榛東村、吉岡町）では、圏域内に拠点となる病院がなく、前橋保健医療圏に強く依存している状況にあります。

渋川総合病院は、平成15年3月に国立渋川病院から移譲され、6市町村の組合立病院として開院しました。その後、平成18年の6市町村の合併に伴い、現渋川市の市立病院となり、地域医療に重要な役割を担ってまいりました。しかし、国の医療制度改革の影響を強く受けて、医師不足の状態にあり、経営安定化に課

西群馬病院と渋川総合病院の統合整備



新病院整備に関して 皆様のご意見を 聴かせてください

市では、西群馬病院と渋川総合病院との再編統合による新病院整備に関して、病院機能や診療に対する皆さんからの意見を募集します。

いただいた意見は、新病院整備の参考としていきます。

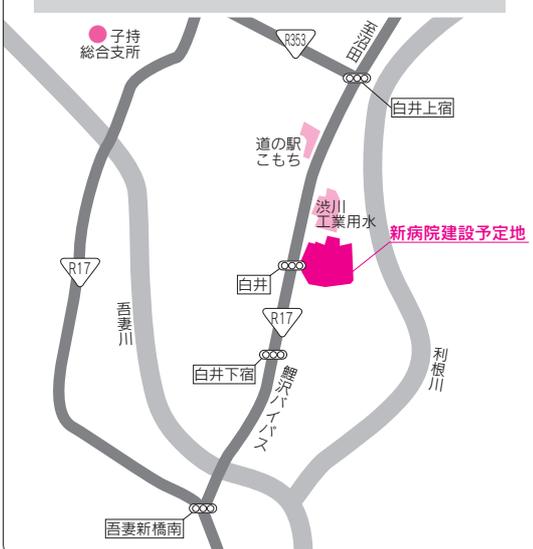
応募方法 意見を記入した用紙(様式は問いません)に、氏名(団体名)、住所、電話番号を明記し、郵送、ファックスまたはEメールで病院再編統合準備室(〒377-8501・石原80・FAX④6541・pr-hs@city.shibukawa.gunma.jp)へ

応募期限 3月31日(土)

結果報告 応募された意見は、意見の概要とそれに対する市の考え方を集約して、「広報しぶかわ」と「市ホームページ」に掲載します。なお、意見以外の個人情報などは公表しません。また、意見に対する個別の回答はしません。

詳しくは、病院再編統合準備室へ。

新病院建設予定地位置図



2月21日(火)市民会館において、国立病院機構と市は「独立行政法人国立病院機構と渋川市による新病院の整備及び運営に係る基本協定調印式」を行いました。

写真・基本協定書に調印した4人(左から西群馬病院斎藤院長、国立病院機構矢崎理事長、阿久津市長、渋川総合病院横江院長)

題を抱えています。

一方、独立行政法人国立病院機構西群馬病院は、がん専門病院として安定した経営を行っています。施設が老朽化や患者の利便性の向上などに対応するため、施設を移転し、新たに整備する計画を進めていました。

こうした背景の中で、地域医療の一層の充実を図るため、市は、独立行政法人国立病院機構本部および西群馬病院と病院統合に向けた協議を重ねてきました。その結果、西群馬病院の移転整備計画に合わせて、西群馬病院と渋川総合病院を再編統合し、新たな拠点病院を整備することになりました。

新病院の概要

新病院は、西群馬病院の診療機能に、渋川総合病院のもつ救急や感染症医療などの診療機能を加え、地域住民に身近な病院を目指します。新病院の経営主体は独立行政法人国立病院機構とし、渋川総合病院は廃止します。

また、本市は、渋川総合病院を廃止する代わりに、新病院の建物の一部を区分所有し、その公の施設を設置します。この公の施設を新病院が一体的に活用することにより、地域医療と市民福祉の充実強化を図ります。

新病院建設予定地 渋川市白井

地内(約4万3,000平方メートル)
総事業費 約130億円(地域医療再生計画における総事業費)
病床数 450床
事業予定期間 平成23〜26年度

財源と市の負担について

県が策定した「平成22年度群馬県地域医療再生計画」において、新病院は北毛地域の中核的病院として位置付けられ、整備事業に対して28億6,100万円の県交付金が内示されました。

本市では、総事業費の一定割合を負担するとともに、その負担分を本市が区分所有する公の施設の建設などに充てます。

3月10日(土) 小野上公民館が全館オープン



プレオープンでにぎわう図書室

一般開放は午前10時～／
正午まではお茶会などの
オープンイベントを開催

小野上公民館 ☎ 597027

小野上公民館で昨年6月から行っていた改修工事が完了し、2月1日からプレオープンとして一部分(図書室、学習室、講義室)の貸館業務を再開しました。3月10日(土)には開館記念式典を行い、全館利用できるようになります。今回は、館内(右図参照)の一部を紹介します。新しくなった公民館で新たな仲間や趣味を見つけてみませんか。



講義室

会議や講演会などで利用できる広い部屋。大きな窓から日差しがたっぷりと差しこみます。



ホール

グランドピアノやドラムセットを備えた舞台があり、演奏会や発表会などに利用できます。



創作室

電気炉2台と作業台2台を設置。木工やガラス工芸などに利用でき、趣味の幅が広がります。



図書室

約1万冊の書籍が並ぶほか、学習用の大きな机などを設置。また、市立図書館・北橋図書館・子持公民館図書室とネットワークで結び、小野上公民館図書室に置いていない書籍の貸し出しもできるようになりました。



プレオープンで図書室を利用した子どもたち(左から飯塚優月さん、佐藤蒼真さん、佐藤駿斗さん)

新しくなった図書室に初めて来ました。前よりピカピカで本がたくさん。これからもここでたくさんのお本を読みたいです。



市では、市民から直接地域の声を聴くため、市長が各地に出向いて対話集会や女性懇談会を開催しています。

1月24日には、小野上保健センターで小野上地区の市女性防火クラブなどの14人に参加していただいて、対話集会を開催しました。対話集会で出された意見への、市長の回答や市の対応状況などの一部を紹介します。

女性防火クラブの活動

女性防火クラブが各地区に組織化されていますが、具体的に何をやる組織なのでしょうか。

回答 「家庭から火事を出さない」を合言葉にクラブ員自ら学びながら防火活動を実践しています。
(本行政課)

対話集会での意見の報告

対話集会で出された意見などを報告してほしいです。

回答 今後、「広報しぶかわ」で主な内容を報告していきます。
(本広報情報課)

最終処分場の放射線

小野上地区には最終処分場があります。放射線は大丈夫でしょうか。

回答 焼却灰は関東ローム層の粘土質の土で覆っています。放射線セシウムは、粘土質の土に吸着される性質があるため、浸出水や地下水への影響はほとんど考えられません。また、処分場は、全体にシートを敷いているので、地下水への影響もないと考えています。今後とも放射線量の測定を継続していきます。
(渋川広域組合事業課)

小野上デイサービスの定員

小野上デイサービスは、定員いっぱいまで待っている状態です。どうにかならないのでしょうか。

回答 待機者解消に向けて指定管理者の社会福祉協議会と協議します。併せて、隣接施設の活用を検討していきます。
(本高齢福祉課)

かに石幼稚園の運営

かに石幼稚園の園児数が少なくなっています。今後、園をどのようにしていくのでしょうか。

回答 国でも幼保一体の話が出ています。それに合わせて、かに石幼稚園の位置付けを保護者の皆さんに判断してもらうことも必要かと思えます。今後とも国の動向に注視しながら、進めていきます。
(本こども課)

生徒数減少による中学校の統合

中学校の生徒数が少なくなつて、部活動を選ぶことが難しくなっています。中学校の統合は考えられるのでしょうか。

回答 来年度「渋川市小中学校適正配置基本方針」を策定します。その方針に基づき対応して

いきたいと思えます。
(教育総務課)

小野上地区の宅地分譲

小野上地区には、JRの駅が2駅あります。駅から近いところに分譲地などを造って人口増を図れませんか。

回答 今後、橋りょう整備などの北部地域におけるまちづくりの際に検討していきます。
(都市計画課)

国道353号の交通対策

国道353号は交通量が多くて危険です。道の駅の前に信号がほしいという意見もあります。

回答 現在、自治会からは要望が出ていませんが、確認したいと思えます。要望書が出た時点で警察に信号設置の要望をします。
(本市民生活課)

街灯の設置

道が暗いので街灯をつけてもらいたいです。

回答 街灯は、自治会から要望をいただいで対応しています。現場の状況を確認し、危険な箇所に設置を検討します。
(本行政課)

第4期地域審議会委員を募集

任期は4月1日～平成26年3月31日

各地域の意見を
市政に反映させるために

地域審議会は、合併によって住民の意見が市政に反映されにくくなるとの懸念から、「市町村の合併の特例に関する法律」に基づき、旧市町村ごとに設置したものです。このたび、各地区地域審議会の委員改選に当たり、それぞれの地域から広く意見を求めるために地域審議会委員を公募します。

〈地域審議会の役割〉

市政に関する市長の諮問に依じての審議と、その地域に関して必要と認める事項などについての審議を行い、市長に意見を述べます。

〈募集要項〉

募集人数 各地区の地域審議会ごとに1人
任期 4月1日～平成26年3月31日
報酬 「渋川市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例」の規定に基づき支給します(日額6、

100円)

応募資格 今年4月1日現在で、次の項目のすべてに該当する人

- ①各地区地域審議会の所管区域に住所を有する満20歳以上の
- ②国および地方公共団体の議員または常勤職員ではない人
- ③本市の他の附属機関などの委員になっていない人
- ④第1期から第3期の地域審議会委員になっていない人
- ⑤各地区地域審議会の所管区域でのまちづくりに関心がある人
- ⑥平日の昼間に開催する会議に参加できる人(各地区で必要に応じて年3回以上開催)

応募方法 「地域審議会公募委員応募申込書」に必要事項とまちづくりの考え方や応募

動機(400字以内)を記入の上、郵送、ファックス、Eメール(tiki-bos@city.shibukawa.gunma.jp)または直接持参で各

地域審議会委員の応募・問い合わせ先一覧表

担当部署	郵便番号	所在地	電話 (ファックス)
企画課	377-8501	石原80	22-2401 (24-6541)
伊香保総合支所 総務課	377-0192	伊香保町 伊香保116-1	72-3155 (72-5544)
小野上総合支所 総務課	377-0392	村上3756-3	59-7020 (59-2339)
子持総合支所 総務課	377-0292	吹屋384	22-7711 (24-6189)
赤城総合支所 総務課	379-1192	赤城町 敷島568-1	56-9211 (56-2218)
北橋総合支所 総務課	377-8502	北橋町 真壁2372-1	52-2111 (52-4008)

応募先に提出

※申込書は、各応募先にあります。また、市ホームページ(<http://www.city.shibukawa.gunma.jp/>)から印刷することができます。

※提出された書類は返却しません。

応募期限 3月30日(金)(必着)

決定方法 選考により決定

※選考結果は、応募者全員に文書により通知します。

応募・問い合わせ先 右表のとおり
詳しくは、**本企画課**(☎2401)へ。



まちなかセンター市場の外観

渋川ネイブルスクエアに出店しませんか？

渋川四ツ角の北西にある、渋川ネイブルスクエア内で現在、生鮮食品などの販売を行っている「まちなかセンター市場」が、3月31日(土)をもって閉店することになりました。

市では、4月以降に、この建

物を利用して、生鮮品などを販売する事業者を募集します。

出店者募集要項 ■商工振興課にあるほか、市ホームページでも見ることができます。

問い合わせ先 商工振興課(☎2596)

行政改革推進委員を募集

応募資格は行政改革など

市政に関心のある20歳以上の人

市では、現在、第2次行政改革大綱に基づいて行財政改革を推進しています。この取り組みなどに対する皆さんの意見をいただくため、行政改革推進委員会の委員を募集します。

行政改革推進委員会は、行政改革を進めるための指針となる大綱の策定に係る事項や、行政改革の進行管理を中心に審議する機関です。公募による市民委員のほかに、各種団体の代表者や学識経験者で構成されます。会議は、1年に2～3回の開催を予定しています。

応募資格 市内在住で、行政改革など市政に関心のある20歳以上の人(市議会議員、市職員およびほかの審議会などの委員、ならびに行政改革推進委員経験者を除く)

募集人員 2人(応募多数の場合は選考)



任期 平成24年度～25年度のおおむね2年間

応募方法 所定の申込書に必要事項を明記し、応募の動機(行政改革推進の考え方など)を400字以内にとまとめたものを添え、郵送または持参で

本企画課(〒377-8501・石原80)へ

※申込書は、企画課にあるほか、市ホームページから印刷することができます。

※「応募の動機」を記入する用紙は問いません。手書き、ワープロ書きどちらでも構いません。

応募期限 3月30日(金)(必着)

問い合わせ先 企画課(☎22401)



高齢者福祉推進委員会は、本市の高齢者福祉施策の指針となる、高齢者福祉計画の進捗よく状況に対する評価や課題の検討などを行う機関です。この委員会は、公募による市民委員のほか、各種団体の代表者や学識経験者など20人の委員で構成され、年4回程度の会議を開催します。今回、高齢者福祉推進委員会の市民委員を募集します。

より充実した

高齢者福祉を目指すために

委員の役割 より良い高齢者福祉を目指すため、高齢者福祉施策の推進、介護保険の地域密着型サービス事業者の指定、地域包括支援センターの運営方法などについて協議します

任期 4月1日～平成27年3月31日(3年間)

応募資格 市内在住の20歳以上の人で、高齢者福祉に関心のある人

募集人数 4人

選考方法 書類選考

応募方法 応募用紙(高齢福祉課にあります)に必要事項を記入し、郵送または直接**本**高齢福祉課(〒377-18501・石原80)へ

※応募用紙は、市ホームページから印刷することができます。

募集期限 3月21日(水)(消印有効)

問い合わせ先 高齢福祉課(☎22116)

高齢者福祉推進委員を募集

市有地を一般競争入札で売却します

現地説明会は3月15日／入札は3月22日午前10時

渋川地区の宅地1物件で面積は約117坪

市では、一般競争入札により市有地の売り払いを行います。

入札日 3月22日(木)午前10時

入札場所 市役所本庁舎西棟入札室

売却物件の表示など ▽所在地

Ⅱ 渋川字並木720番地1(左図参照)

▽区分Ⅱ土地 ▽地目Ⅱ宅地

▽面積Ⅱ388.39平方メートル

▽用途地域Ⅱ第一種住居地域

▽建ぺい率Ⅱ60％ ▽容積率Ⅱ200％

入札参加資格 個人、法人を問わず、誰でも参加できます

※その他法令などにより参加できない場合があります



売却物件/388.39㎡



売却物件案内図

※該当地は渋川市シルバー人材センター事務所の跡地です。

きない場合もあります。
入札予定価格 1、500万円
 (最低売却価格)
入札保証金 入札(見積)金額の100分の5以上の現金または小切手を納入
落札者の決定 有効札のうち、予定価格以上で最高価格を入札した参加者
契約日 落札の日から5日以内
契約保証金(落札者のみ) 契約金額の10分の1以上の現金を納入
売買代金納入期限 契約の日から30日以内に全額納入

入札参加申込期間 3月12日(月) 16日(金)午前8時30分～午後5時15分(正午～午後1時を除く)
 ※事前に「入札の案内」(財政課にあります)を確認してください。
 なお、市ホームページ(<http://www.city.shibukawa.gunma.jp/>)から印刷することができます。
〈現地説明会〉
 現地説明会を次のとおり行います。
とき 3月15日(木)午前10時30分
ところ 入札物件所在地
申込・問い合わせ先 本財政課
 (☎22414)

4月から「森林の所有者届出制度」が始まります

昨年4月に行われた森林法の改正により、今年の4月以降、森林の土地所有者となった人は、その土地が所在する市町村役場への事後の届出が義務付けられました。

対象となる土地 登記上の地目や面積にかかわらず、都道府県の地域森林計画の対象となっている森林

※現況が森林となっている土地は、対象となる可能性がありますので、注意してください。

対象者 個人・法人を問わず、売買や相続などにより、森林の土地を新たに取得した人

詳しくは、農林課(☎22593)または渋川森林事務所(☎22763)へ。



小規模工事等の 受注希望者登録

平成24・25年度の 登録を受け付けます

競争入札参加資格の認定を受けていない事業者で、市が発注する小規模な工事、修繕、業務委託、物品の購入などの受注機会を希望する事業者を対象に、平成24・25年度の小規模工事等希望者登録申請を受け付けます。

申請期間 3月5日(月)～16日(金)午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日を除く)

申請場所 本契約検査課
申請方法 所定の申請書に記入の上、必要書類を添付して契約検査課へ
※「申請書」と「申請書記入のための手引き」は、契約検査課および各総合支所総務課で配布します。また、市ホームページから印刷することができます。

詳しくは、契約検査課(☎2369)へ。

空間放射線量測定器を貸し出します

身近な場所での放射線量を測定できます

貸出は半日単位です／希望する人は事前予約を

市では、市民の身近な生活環境における放射線量を把握できるように、空間放射線量測定器を無料で貸し出します。

貸出時間 ▽午前9時～11時30分
▽午後1時30分～4時30分(閉庁日を除く)

対象者 市内に在住または固定資産を所有する個人・法人

貸出場所・配置台数 ▽本庁舎Ⅱ環境課・5台 ▽各総合支所Ⅱいずれも市民福祉課・1台

申込方法 借受を希望する貸出場所に、電話か窓口で事前予約した後に、借受窓口で

「放射線量測定器貸出申請書」に必要事項を記入して提出

予約電話番号 環境課(☎22114)、伊香保総合支所(☎22114)

3155)、小野上総合支所(☎22111)、子持総合支所(☎241211)、赤城総合支所(☎562211)、北橋総合支所(☎22111)

持参するもの 身分を証明できるもの(保険証など)、印鑑

予約開始日 3月12日(月)午前8時30分

返却と測定結果の報告 測定後は速やかに借り受けた窓口へ返却してください。その際に「放射線量測定器返却届兼測定結果報告書」を提出してください

その他 貸し出す測定器では、土壌や水、食品などは測定できません。また、簡易の測定器のため、測定結果は参考値として扱ってください

モニタリングポストが設置されました

文部科学省の事業により、空間放射線量測定器(モニタリングポスト)が子持ふれあい公園敷地内に設置され、放射線量の測定が開始されます。測定器は、本県内に新たに24基設置され、測定データは文部科学省で一括管理し、同省のホームページで公表されます。



電源は太陽電池で供給されます

高齢者福祉計画(案)に対する意見募集結果のお知らせ

平成24年度から26年度までの3年間、本市の高齢者福祉と介護保険の指針となる「渋川市高齢者福祉計画(案)」に対する意見募集を、昨年12月5日から26日まで行いました。この期間中3件の意見が提出されました。

■意見の内訳(件数・人数)

▷総論第1章「計画の概要」、第2章「渋川市の高

齢者を取り巻く現状」、第4章「計画の基本的な考え方」について＝1件 ▷各論第6章「健やかに安心して生活できるまち」について＝2件
※意見などの主な内容については、本高齢福祉課で閲覧できます。また、市ホームページで見ることができます。

詳しくは、高齢福祉課(☎22116)へ。

自動車や工場などによる騒音と振動

本市には、県内でも有数の工場、事業場が集積しています。また、関越自動車道、国道17号が縦断し、交通の利便性が高い地域でもあります。一方で、そうしたものは近隣地域に騒音・振動公害をもたらすことがあります。そのため、市では、良好な生活環境の保全を目的に、騒音・振動の調査を行っています。



国道17号での騒音調査

騒音の調査結果

一般的に騒音とは、「不快な音」「不必要な音」のことをいいます。

一般環境や道路騒音については、望ましいとされる環境基準があるほか、工場・事業場騒音、建設作業騒音、自動車騒音については、騒音規制法により規制基準が定められています。

平成22年度の系統別騒音の調査結果は、次のとおりです。

①環境騒音

環境騒音の調査の結果、交通量の多い道路に面している地域では、おおむね基準（昼間⇨70デシベル以下、夜間⇨65

デシベル以下）を満たしていません。それ以外の一般地域のうち、道路に比較的近い地域では、夜間の基準値（午後10時～午前6時：45デシベル以下）を超えていました。

②自動車騒音

自動車騒音の調査結果は、高速自動車道周辺では、環境基準を満たしていません。国道17号沿線では、昼夜ともに環境基準を超えていました。が、県公安委員会に対して規制措置などを要請できる騒音の限度（昼間⇨75デシベル以下、夜間⇨70デシベル以下）は下回っていました。

③新幹線鉄道騒音

新幹線鉄道騒音については、軌道からの距離が12・5㍍、25㍍、50㍍の3地点で測定しました。その結果、12・5㍍と25㍍の地点で基準値（70デシベル以下）を超えました。

市では、この測定結果を県に報告し、県では、JR東日本などに環境基準を達成するよう要望しています。

④特定工場等騒音

騒音規制法により、騒音の発生源とされている特定施設

（空圧縮機など）を有する事業場の騒音は、騒音の発生源が屋内に設置されている事業場では、法の規制基準値以下でした。しかし、発生源が屋外に設置されていたり、開放的になつている事業場の多くでは、基準値を超えていました。市では、規制基準を超えている事業場の周辺の人たちから苦情が出た場合に、改善を指導するなどの対応に努めています。

振動の調査結果

公害としての振動は、人為的に発生する「不快な振動」のことをいいます。振動については、環境基準は定められていませんが、調査対象ごとに規制基準や指針などが設定されています。

平成22年度は、道路交通振動調査を3地点、新幹線鉄道振動調査を3地点、特定工場などで発生する振動の調査を16事業場の42地点で行いました。結果は、全て基準または指針の範囲内でした。

（本環境課）

近年、地域社会における人間関係の希薄化や単身・高齢者世帯の増加などにより、家族のあり方が変化しているといわれています。一世帯当たりの人数が減り、子育てや介護など今まで家庭で担っていたことに、地域の支えを必要とするようになってきました。

また、昨年発生した東日本大震災の後、地域での支え合いがとて重要であるといわ



よりよい地域作りを目指して開催している市長と市民の懇談会

ゆるやかに支え合う暮らしやすい地域に

れています。

このような地域社会の変化に対応し、私たちがより暮らしやすい地域をつくっていくためには、考え直さなければならないことがたくさんあります。

その中の一つに、性別による役割分担の見直しがあります。「男性だから」「女性だから」を理由に役割を分けることで、地域で担いき

れない課題が出てくると予想されます。逆に、性別ではなく、それぞれの個性と能力を持ち寄って協力し合うことで、解決できることもたくさんあります。一人ひとりの意見を尊重し、性別に関係なく地域づくりに関わっていただけることが、ゆるやかに支え合える、暮らしやすい地域の実現につながるのではないのでしょうか。

(本市民生活課)

隔月連載

毎月連載



近年、女性の立場は、昔と比べると大きく変わってきています。社会進出や子育てなど、さまざまな面で男女平等の社会となってきました。

特に子育てでは、職場の支援が広がり、育児休暇を取って、母親の代わりに子育てをする父親もいます。このような、積極的に育児に取り組む男性のことを指す「イクメン」という言葉も生まれました。

ただ、男性と女性が平等

人権を大切にする女性に

育てよう！一人ひとりの人権意識

Vol.5

の社会になっても、忘れてはいけないのは、女性が本来もつ『女性らしさ』ではないかと感じています。

先日、デパートの「ベビーカー優先」と書いてあるエレベーターで、ベビーカーを押す人を無視して、われ先にと乗り込む女性の姿を目にしました。私は、この光景を見て、同性として、とても残念に思いました。

人を思いやり、他人に優しくすることが、「人権を大切にする」ということではないでしょうか。

「男女平等社会」に向かっていく時代だからこそ、女性には、他人の人権を大切にしつつ、本来女性ももつ『女性らしさ』を備えた人になってもらいたいものです。

(寄稿：市人権教育推進協議会委員・生涯学習課)

本市の魅力を再発見「しづかわ彩発見モニターバスツアー」
陶芸やイチゴ狩りなど早春を感じるコースを43人が楽しむ



市観光協会主催の「湯ったり巡るしづかわ彩発見モニターバスツアー」。2月3日には、ロウバイ&イチゴと陶芸体験コースが開催され、43人の参加者が陶芸やイチゴ狩りを楽しみました。陶芸体験では、お皿など思い思いの作品作りに挑戦。「底をもう少し厚く」と講師にアドバイスを受けながら、思い出の品を完成させました。

「何を作ろうか」陶芸を楽しむ参加者(右) 隙間を作らないように(左上) 甘いイチゴにこぼれる笑顔(左下)

赤城南中学校で「立志式」
2年生62人が自身の将来に向けた決意の言葉を発表

2月9日に赤城南中学校で開催された「立志式」。2年生62人が、全校生徒や地域の人たちが見守る中、自身の将来に向けた決意の言葉を、一人ひとり発表しました。内容は「サッカー選手になるためにしっかりと練習する」など十人十色。また、式終了後には同校の卒業生で、上毛新聞社社長の渡辺幸男さんの記念講演が行われました。



大きな声で発表する生徒たち、講師の渡辺さん(右上)

中央公民館の「あったか～いすいとんを作ろう」

男性12人がつくる手軽でおいしい具たくさん“すいとん”



2月6日、中央公民館で行われたすいとんづくり教室。男性12人が参加して、すいとんと豚の生姜焼き、ハウレンソウの和え物の3品を作りました。普段、あまり料理をしない人も、少しぎこちない手つきで積極的に調理に参加。「この大きさでいいかな」「少し甘いかな」と相談しながら、野菜たっぷりの男の手料理を完成させました。

献立を見ながら調味料を計量(右) 切った具を順序よく鍋に移す参加者(左上) 完成したすいとん(左下)

こもち幼稚園で恒例の「茶道教室」を開催

背筋を“ピン”茶道を通じておもてなしの心とマナーを学ぶ

こもち幼稚園では、日本の伝統文化にふれ、礼儀作法を身に付けてもらおうと、2月7日「茶道教室」を開催しました。この日、教室に参加した園児54人は、地元の茶道講師の指導の下、和菓子や抹茶のもてなし方、茶器の扱いなどを体験。抹茶の味に「苦い」「おいしい」とさまざまな表情を浮かべていました。



行儀良く正座していただいた抹茶の味に思わず顔を見合わせます

募 集

平成24年度資源ごみ
集回収団体の登録

本環境課 ☎22114



金井南町子供会育成会の廃品回収の様子

市では、資源ごみ(新聞紙、段ボール、金属類など)の集団回収を行う地域の団体に、回収した資源ごみ1キログラム当たり10円の報奨金を交付して、ごみの減量化と資源の有効活用を推進しています。

平成24年度の登録を希望する団体は、届け出てください。登録方法 渋川リサイクル資源組合に加盟する資源ごみ回収業者のうち、1業者の同意を得て、「資源ごみ回収団体登録届出書」(環境課および各総合支所市民福祉課にありませ)を環境課または各総合支所市民福祉課へ

届出期限 3月23日(金)

図書館

市立図書館の
催し物案内

市立図書館 ☎220644

いずれも会場は市立図書館、参加料は無料です。

〈子ども映画会〉

とき 3月10日(土)午後2時

内容 「ひなまつり」「いじわる狐ランボー」「MOTTA INAI(もったいない)」



〈萌えの子おはなし会〉

とき 3月17日(土)午後2時

内容 ▽絵本Ⅱ「かせのどんしゃにのつて」「こよみともたち」 ▽紙芝居Ⅱ「むかでのおつかい」「なのはなはなばたけのこびとのぼつや」

〈映画鑑賞会〉

とき 3月18日(日)午後2時

内容 「子供の情景」
(監督:ハナ・マフマルバフン)
主演:ニクバクト・ノルース

〈2007年・イラン、フランス映画〉

お知らせ

軽自動車などの廃車・
名変手続きはお早めに

本税務課 ☎22113

軽自動車税は、毎年4月1日現在に登録されている軽自動車やバイクなどの所有者に課税される税金です。

毎年「使用していないのに課税された」などの問い合わせが多数ありますが、これは廃車や名義変更の手続きをしていないために起こります。

また、廃車などの手続きをしていない人は、3月30日(金)までに必ず済ませてください。種別の問い合わせ・届け出先

▽125cc以下のバイク(原動機付自転車)および小型特殊自動車Ⅱ市役所税務課市民税係

▽125ccを超えるバイク(軽二輪・二輪小型自動車)Ⅱ関東運輸局群馬運輸支局(前橋市上泉町399-1・☎0505015440-2021)

▽四輪の軽自動車Ⅱ軽自動車検査協会群馬事務所(前橋市野中町322-1・☎0271261-4621)

本紙の有料広告募集中

市内約3万1,000世帯に配布されます

規格・掲載料(1回) ▽A区画(縦4.9cm×横8.7cm)=1万5,000円 ▽B区画(縦4.9cm×横17.7cm)=3万円

問い合わせ先 本広報情報課(☎22320)

広告募集中

【広告】

各総合支所の電話番号

- 伊香保総合支所 ☎72-3155 □ 赤城総合支所 ☎56-2211
- 小野上総合支所 ☎59-2111 □ 北橋総合支所 ☎52-2111
- 子持総合支所 ☎24-1211

元気ポイントを集めて交換した
無料入浴券の利用は
3月31日までに

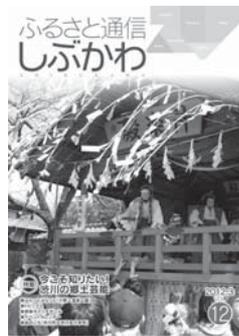
本高齢福祉課 ☎22116

市では、40歳以上の市民の人が自らの介護予防に意欲的に取り組む、活動的な85歳を目指し、「元気ポイントカード事業」を行っています。介護予防に関する各種講演会や教室などの元気ポイント対象事業に参加すると、参加1回につき1～2ポイント差し上げ、3ポイント集めた人には、市有日帰り温泉施設無料入浴券1枚と交換しています。

今年度、元気ポイントと交換した無料入浴券の使用期限は、3月31日(土)です。交換した入浴券をまだ持っている人は、期限内に利用してください。

「ふるさと通信しづかわ」は、県外に住む本市出身者に、本市の魅力や懐かしい「ふるさと」の情報を無料でお届けする冊子です。今回、第12号の発行に伴い、新規読者を募集します。

今回の特集は「今こそ知りたい！ 渋川の郷土芸能」と題して、市内の郷土芸能(獅子舞や太々神楽など)や芸能を



「ふるさと通信しづかわ」の読者を募集

本広報情報課 ☎22320

次世代に伝承していく様子を紹介しています。

本市出身者で県外に住む親せきや友人などへ送付を希望する人は、ぜひ、申し込みください。

なお、見本を市ホームページに掲載するほか、市役所本庁舎(市民課受付窓口)および各総合支所に配置しますのでご覧ください。

申込方法 送付先(新規読者の氏名、住所、郵便番号および出身地区名、紹介者の氏名、住所)を電話またはファックスで広報情報課(☎246541)へ※前号が送付されている読者は、改めて申し込む必要はありません。ただし、住所などに変更があった場合は、広報情報課へ連絡をお願いします。

福祉

手話奉仕員養成講座 基礎課程

市社会福祉協議会 ☎25500

とき 4月23日(月)～12月17日(月)の毎週月曜日午前10時～正午(8月13日(月)と祝日を除く・計30回)

ところ 渋川ほっとプラザ

対象者 「手話奉仕員養成講座入門課程」を修了した後に、手話サークルなどでの学習経験が2年以上ある人で、全日程を受講できる人

定員 20人(定員を超えた場合は選考)

参加料 1,470円(テキスト代)

申込方法 往復はがきに住所氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、手話経験(手話講習会・手話サークル年数など)、返信面に宛名を明記の上、市社会福祉協議会(〒377-0008・渋川176001)へ。

申込期限 4月6日(金)



グラフ 渋川を発行しました・全戸に回覧後希望者に差し上げます

市では、市町村合併5周年を記念して、「グラフ渋川第2号」を発行しました。

今回は、特集「わがまち自慢」で、観光大使の生方ななえさんや各地区の観光ガイドの皆さんなどが、市内の自慢できるスポットを紹介しています。そのほか、市の5年間の歩みや市長と高校生との対

談など盛りだくさんの内容です。

このグラフ誌を各戸に回覧した後、次のとおり希望者に配布します。

配布開始日 3月8日(木)

配布場所 本庁舎案内窓口、**本**広報情報課、各総合支所総務課、中央公民館

問い合わせ先 広報情報課(☎22320)



**訪問介護員(2級課程)
養成研修受講生**

■本高齢福祉課 ☎22116
とき 5月14日(月)～7月20日(金)

ところ 社会福祉法人恵の園
対象者 ホームヘルプサービス事業に従事を希望する人
定員 20人(超えた場合は抽選)
受講料 5万円(テキスト代・実習費など)

申込・問い合わせ先 往復はがきに受講希望者の住所、氏名、年齢、生年月日、性別、電話番号、受講理由を明記し、社会福祉法人恵の園「ホームヘルパー係」(〒377-8567・渋川4418・☎21730)へ
申込期間 3月5日(月)～4月6日(金)(必着)

**渋川老人福祉センター
からのお知らせ**

渋川老人福祉センター
☎231765

〈ふれあい浴場〉

とき 3月25日(日)
内容 渋川老人福祉センター内浴場の無料開放(市民のみ)
〈無料巡回バスの運行〉
とき 毎週日曜日

コース 午前9時15分金島駅発、9時50分スカイテルメ渋川、10時15分渋川老人福祉センター着。帰りは午後2時センター発
〈健康相談〉
とき 3月8日(木)午後1時30分

ところ 渋川老人福祉センター
医師 塚越秀男さん(渋川)御蔭)
〈4月の休館日〉
2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)

スポーツ

「渋川いきいき健康スポーツクラブ」教室紹介

■体育課 ☎22104
いずれの教室も申込・問い合わせは、渋川いきいき健康スポーツクラブ小松真弓さん(☎240120)へ。

「体幹トレーニング教室」

とき 3月9日(金)、16日(金)午前10時～11時30分
ところ 渋川いきいき健康スポーツクラブハウス(渋川)辰巳町)
内容 体幹(腹筋・背筋)トレーニングでお腹周りを引き締め、太りにくい体づくりをし

ます
対象者 市内の成人
定員 8人(先着順)

参加料 500円(保険料など)
持参するもの 室内用運動靴
「トップアスリート巡回指導スポーツ教室」
〈ローラースケート体験教室〉

とき 3月10日(土)、17日(土)、24日(土)、31日(土)午前9時～正午
ところ コマツスポーツクラブ
ブローラーリンク(石原)
内容 世界選手権出場選手などが指導します

対象者 市内の小学生～成人
定員 10人(先着順)
参加料 3,000円(保険料など)

その他 用具は貸し出します。申し込み時に靴のサイズをお知らせください
〈レスリング体験教室〉

とき 3月5日(月)、12日(月)、19日(月)、26日(月)午後7時～9時

ところ 渋川中学校武道館
内容 国体チャンピオンが初心者にも丁寧に指導します
対象者 市内の小学生～成人
定員 6人(先着順)
参加料 3,000円(保険料など)
持参するもの 運動のできる

服装
〈サッカー体験教室〉

とき 3月9日(金)、16日(金)、23日(金)、30日(金)午後7時～9時

ところ 渋川北中学校校庭
内容 元Jリーガーが指導します
対象者 市内の小学生～成人
定員 10人(先着順)
参加料 3,000円(保険料など)
持参するもの 運動のできる服装



市民家庭スポーツの日

■体育課 ☎22104
3月の市民家庭スポーツの日(毎月第2日曜日)は、子持社会体育館(アリーナ、ランニングコース)を無料開放します。
とき 3月11日(日)午前10時～午後3時
※当日は、体育指導委員2人が、利用者の要望により指導や助言を行います。

**初心者
ダンス体験教室**

- **とき** 4月7日(土)からの毎週土曜日午後6時30分～9時30分
- **ところ** 中央公民館
- **内容** モダンとラテン
- **講師** 竹田秀夫さん(渋川御蔭)
- **定員** 30人(先着順)
- **参加料** 無料(入会する場合)は会費月額2,000円
- **申込方法** 電話で渋川社交ダンスクラブ諸田儀一さん(☎090-8593-0076)へ

**車の各種手続きは
3月30日までに**

自動車税は、毎年4月1日現在に登録されている自動車の所有者(割賦販売の場合は使用者)に課税される税金です。自動車所有者の住所や氏名の変更または売買、譲渡などで登録内容に変更があったときは、確実に手続きをしてください。また、手続きを販売業者などに依頼したときは、手続きが済んでいるかを必ず確認してください。手続きをしないと、転居先に納税通知書が届かない、既

に使用していない自動車の税金を納めることになるなど、トラブルの原因になります。また、名義変更などの手続きをしていない人は、3月30日(金)までに済ませてください。

- **問い合わせ先** ▼自動車税について▶自動車税事務所(☎027-263-4343)、中部県税事務所(☎027-234-1800)、渋川行政県税事務所(☎24050) ▼登録について▶関東運輸局群馬運輸支局(☎050-5540-2021)

**渋川アコーデイオン
サークル初級受講生**

- **とき** 4月17日(火)からの毎週火曜日午後7時～9時15分
- **ところ** 渋川南小学校
- **内容** 童謡、懐メロ、シャンソンなどの演奏を基礎から学びます(12月に修了演奏会を予定)
- **対象者** アコーデイオンや楽譜に初めてふれる人
- **参加料** 無料(ただし、登録料3,000円が掛かります)
- **申込・問い合わせ先** 渋川アコーデイオンサークル事務局永井孝和さん宅(☎20144)

**平成24年度NHK学園
高等学校普通科入学生**

NHK学園では、通信制の高等学校普通科新入学生を募集しています。

- **募集期限** 4月20日(金)
- **問い合わせ先** NHK学園高等学校(☎042-573-8111)

**1・2級建設機械
施工技術検定試験**

- **学科試験日** 6月17日(日)
 - **対象者** 建設機械操作施工に相当期間従事している人など
 - **受験料** 1万100円(級・種別ごと)
 - **申込期間** 3月9日(金)～4月6日(金)
- 詳しくは、日本建設機械化協会試験部(☎03-3433-1575)へ。

**求職者支援制度が
スタートしました**

「求職者支援制度」は、雇用保険を受給できない求職者が、職業訓練を通じて早期就職を目指す制度です。パソコンや医療事務、簿記、介護などの求職者支援訓練が

無料(テキスト代などは自己負担)で受講でき、訓練期間中や訓練終了後にはハローワークが就職支援を行います。また、所得など一定の要件を満たす人には、訓練期間中、受講給付金や通所手当を支給します。詳しくは、ハローワーク渋川(☎2636)へ。

渋川警察署からのお願い

東日本大震災の発生からもうすぐ1年が経ちます。今後も地震などの発生は予測できません。自宅や勤務先周辺の避難場所や避難経路を確認したり、緊急時の家族間の連絡方法について家族で話し合いをするなど、災害の発生に備えましょう。

災害発生時の対応

▽火の始末を確認 ▼徒歩で避難する ▼自動車は安全な場所に停めてエンジンを切る ▼警察や防災関係機関などの指示に従って行動する ▼けが人を見つけたら近くの人と協力して応急救護を行う

詳しくは、渋川警察署(☎20110)へ。

◆ 紹介します ◆

元気笑顔

子宮けいがん予防ワクチンの接種期間延長について

中学1年生～3年生の女子は 平成24年度も事業の対象に

今年度の子宮けいがん予防ワクチン接種は、ワクチンの供給不足により、接種できない期間がありました。この状況を踏まえて、国による同ワクチン接種助成事業は、平成24年度も継続されることになりました。

そのため、現在、中学1年生～3年生(平成8年4月2日～11年4月1日生まれ)の女子は、24年度も引き続き助成の対象となります。

また、現在、高校1年生相当(平成7年4月2日～8年4月1日生まれ)の女子は、本事業による接種を、3月31日(土)まで

に1回以上受けていれば、24年度も助成対象となります。今年度未接種で、今後接種を希望する高校1年生相当の女子は、3月末までに必ず接種を受けてください。

なお、対象者に郵送してある予診票の有効期限は、3月31日(土)です。4月以降に接種を受ける場合は、新しい予診票と交換しますので、未使用の予診票と接種済証、母子健康手帳を持参して、**■** 渋川保健センターへお越しください。

詳しくは、渋川保健センター
(☎03321)へ。

写真募集中

3月は自殺対策強化月間です／まずは相談を

本県では、毎年500人前後の人が自ら命を絶っています。自殺の原因や背景はさまざまですが、自殺で亡くなった人の多くが、うつ病などの心の病気を抱えていたことが分かっています。

心が疲れると誰でも心の病気になる可能性があります。また、心の病気は、やる気や頑張りでは解決できず、かえって症状が悪化することもあります。疲れているのに、2週間以上眠れない日が続いている。それは「うつ」の始まりかもしれません。

しかし、心の病気になっても、早期に適切な治療を受けることで、多くの方が回復しています。早めに医療機関(かかりつけ医や心療内科、精神科など)や相談機関に相談しましょう。

〈相談窓口〉

- ・ ころの健康相談統一ダイヤル(☎0570-064-556)
- ・ 渋川保健センター(☎03321)
- ・ 渋川保健福祉事務所(☎024166)
- ・ 県ころの健康センター(☎027-263-1156)

2歳未満(受付時点)の子どもさんの写真を募集します(掲載は1人1回のみ)。子どもさんの氏名(ふりがな)、性別、住所、生年月日、保護者の住所、氏名、電話番号を明記し、子どもさんの写真を添えて、広報情報課(〒377-8501・石原80)へ。
※このコーナーは市ホームページには掲載しません。

「冬のかゆみ」について

渋川地区医師会
皮膚科医師

健康の道しるべ

● 冬のかゆみ

いまだ寒い時季が続いていて、すねや腰の辺りなどのかゆみに悩まされる人が多くみられます。寒い季節のかゆみの多くは、肌の乾燥が原因です。皮膚の乾燥は、かゆみを助長させることが分かっています。

● 乾燥の原因

一般にお年寄りは、皮膚の保湿機能が低下しています。これに空気の乾燥が加わり、肌が乾燥するのです。お年寄りが冬に乾燥肌になりやすいのはこのためです。

● かゆみの対策

かゆいからといって、皮膚をか



き続けると、一層かゆみが強くな

ってしまいます。かかないための対策について理解し、かゆみを「コントロール」することが大切です。

①温度 入浴後にかゆみがひどくなる経験をしたことがあるでしょうか。お湯の温度を42度以上にすると、刺激性が強くなり、かゆみを起こしやすくなります。温度差が大きくなるとかゆみが発生しやすくなるので、入浴前後での温度差を大きくしない工夫が必要です。具体的には「体が冷え切った状態で、すぐに熱い湯に入ることを避ける」「入浴前に浴室も温めておく」といった工夫をしてください。

②皮膚の洗浄 毎日の入浴、皮膚を清潔に保つことが大切です。せっけんなどを使う場合には、しっかりと泡立てて使い、最後は十分にすすぎましょう。また、ナイロンタオルなどでごしごし洗うこと

は、皮膚にダメージを与えます。

③保湿剤の使用 皮膚を清潔に保つためには、せっけんなどできちんと洗い流すことが大切ですが、その一方で、皮膚に潤いを与えている皮脂成分なども洗い流されてしまいます。皮脂成分を失うと乾燥した肌になりやすいので、入浴後に保湿剤によるスキンケアをすることが有効です。保湿剤を使用する際には、皮膚にティッシュペーパーがくっつくくらい、たっぷり塗ることがポイントです。

④湿度 室内の適切な湿度は、50〜60%程度です。湿度が低いときは、加湿器などを利用して、乾燥しすぎないようにしましょう。

● かゆみがひどいときは

かゆみがひどい場合や、かきすぎで症状が悪化した場合は、薬による治療が必要です。その場合は、皮膚科専門医を受診してください。

郷土の魅力をひとめぐり **渋川かるた** vol.23

未来まで はばたきつづけ ヒメギフチョウ

ヒメギフチョウはアゲハチョウの仲間で、羽全体に黄色と黒のしま模様があります。また、後羽には朱色の帯があり、その愛らしい姿から「春の女神」「赤城姫」と呼ばれています。ほかにも、体毛の多いことや氷河期時代の近縁種の化石が発見されていることから「生きた化石」とも呼ばれ、広く人々に愛されています。関東地方では、本市のモロコシ山、ヤハズ山だけに生息している貴重なチョウです。近年ではその数が減少し、現在、準絶滅危惧種に選定されています。昭和61年、県の天然記念物に指定されました。



しぶかわ
フォト

このコーナーでは、皆さんが撮影した季節感のある風景や催し物などの写真(特定の人物を中心にしているものは除く)を掲載します。写真1枚にタイトルと撮影場所、撮影日、住所、氏名、電話番号を明記して広報情報課(〒377-8501・石原80・☎kouhou@city.shibukawa.gunma.jp)へ。



【かわづ桜の丘白井】

撮影場所：白井地内
撮影日：平成23年4月6日
撮影者：大畠繁さん(赤城町長井小川田)

表紙の写真 ひばり保育園で2月3日に豆まきが行われました。「わがまま鬼」や「けんか鬼」など、自分の中の鬼を追い出そうとしていた時、園庭に4匹の鬼が登場。鬼から逃げながら、勇気を出して鬼に豆を投げつける子どもたち。最後は鬼と仲直りして、一緒に写真を撮りました。

うぶごえ(1月生まれ)
男の子 18人
女の子 21人



広報しぶかわ 発行/渋川市

〒377-8501 群馬県渋川市石原80 TEL 22-2111 FAX 24-6541
平成24年3月1日発行 通巻145号 印刷/朝日印刷工業株式会社
市ホームページアドレス <http://www.city.shibukawa.gunma.jp/>